

## ■プロジェクト名

再生プラスチック配合指定袋の実用化に向けた実証実験

## ■事業者名

公益財団法人全日本科学技術協会



## ■実証実験の概要

### ○解決したい社会課題(背景・目的など)

福岡市において令和9年2月1日より「プラスチック」の分別収集開始が決定するなど、資源循環による環境負荷の低減に取り組んでいる。

本実証実験では、福岡市におけるプラスチックごみ回収における「指定ごみ袋」に、家庭ごみ由来の再生プラスチックを使用することで、新たな地産地消型資源循環モデル構築の実現可能性について検証した。

### ○実証実験の内容

- ・家庭ごみ由来の再生プラスチックを25%配合した指定ごみ袋を製造。
- ・プラスチック分別収集開始に先駆けて実施する試験的運用地区にお住まいの約4000世帯が、製造した指定ごみ袋を使用。
- ・指定ごみ袋としての強度や使用感などに関するアンケート調査を実施。

### 【実証実験期間】

令和7年7月31日から令和8年3月31日

### ※試験的運用期間

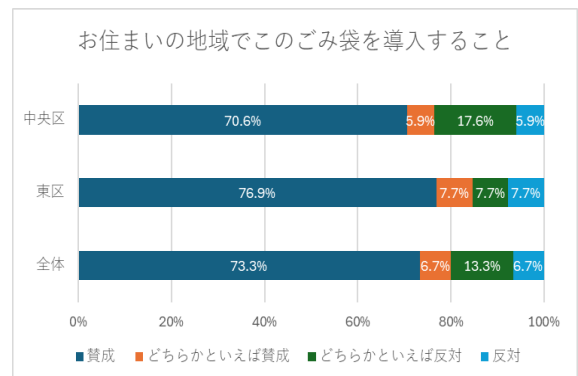
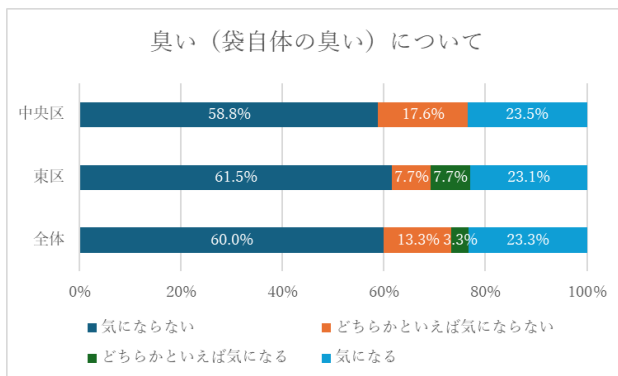
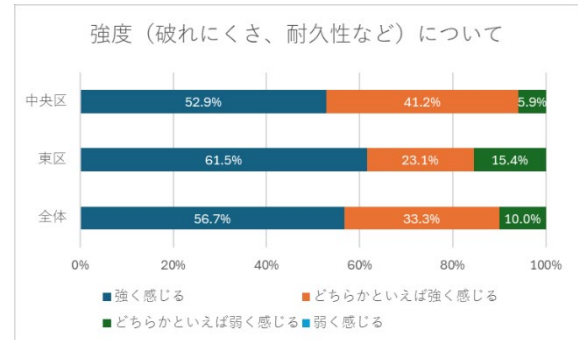
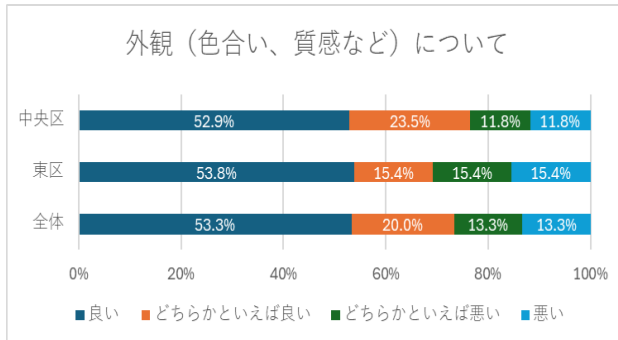
令和8年2月1日～2月28日



【再生プラスチック配合ごみ袋】

## ■実証実験の結果

- ・試験的運用地区での試用に先立ち、家庭ごみ由来再生プラスチックの成分分析を踏まえて製袋レシピを開発し、ごみ袋としての機能を十分に満たすことを確認した。
- ・30世帯からアンケートの回答を得たが、強度に関しては9割が肯定的に評価し、居住地域での本格導入についても8割が「賛成」または「どちらかといえば賛成」と回答した。
- ・他方、約2割の世帯が再生材特有の臭いに懸念を示したことから、対策の必要性が示唆された。



- ・以上の結果から、本実証で開発した技術によって成型した「再生プラスチック配合ごみ袋」が運用可能な機能を担保出来ることが確認された。原料由来の臭いについては、配布までの工程を工夫することで、ある程度除去できる。また、本実証のスキームは、廃棄物処理業者側に特別な設備投資を求めないため、今後福岡市のみならず全国的に横展開出来る可能性も高いことが示唆された。

## ■問い合わせ先

公益財団法人全日本科学技術協会

TEL:03-3831-5911

メールアドレス:postmaster@jarec.or.jp

福岡市 環境局 循環型社会推進部 収集管理課

TEL:092-711-4346

メールアドレス:shushukanri.EB@city.fukuoka.lg.jp